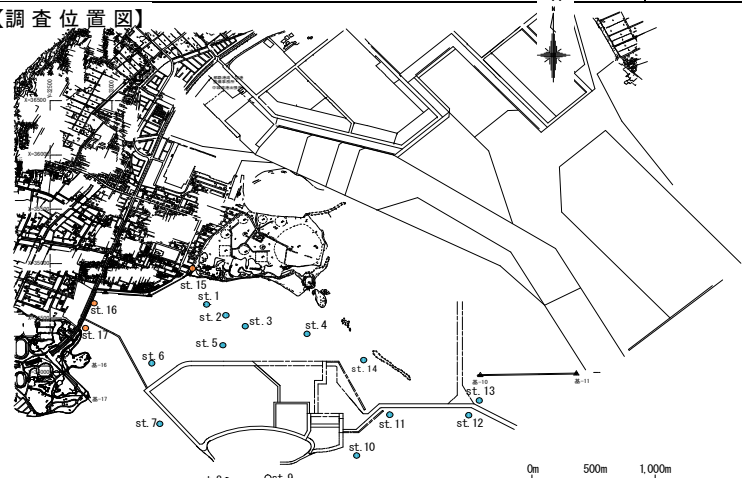


第7回(10月期)モニタリング／フィードバック 月例会議

対象期間:平成24年10月1日～10月31日 那覇港湾・空港整備事務所

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	<p>調査地点の最高値は10月9日のSt.15で51mg/l観測された。これは調査中に4mm/h程度の降雨が観測され、目視より河川からの濁水流入を確認した。 また、基準を超過した10月15日は台風21号の影響により波・風ともに強く、人工島沖合は時化していた。なお、st.1周辺は低質の巻上げと思われる、白い濁りがみられた。 10月19日については、前日までの台風21号の影響によると思われるうすく白い濁りがみられた。</p>			・特になし
	水質調査結果 詳細結果	<p>クビレミドロ監視地点基準値 【st.1～3: SS=7mg/l】</p>	<p>10/15 st.1(PM)、10/19 st.1,st.2(PM)で工事監視基準値を超過した。 平均値は3.6mg/l、1.5～9.7mg/lの範囲で推移していた。</p>	<p>・10/15の基準超過地点の状況は、水深が0.3mと浅く、波高は約0.2m、潮汐は大潮で12:19に干潮であった。要因は、台風による波・風の影響で海底砂が巻き上げられたことによる。 ・10/19の基準超過地点の状況は、水深が浅く(0.3～0.4m)。潮汐は小潮で調査中が干潮(15:02)であった。当日の海域は、風力が1～2、波高が0.1～0.2mと比較的穏やかであった。要因は前日の台風通過による波・風の影響で海底砂が巻き上げられたことによる。</p>
<p>工事の濁り監視地点基準値 【st.4～14: SS=11mg/l】</p>		<p>期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。 平均値は2.3mg/l、<1.0～8.1mg/lの範囲で推移していた。</p>		
<p>流入部負荷量の調査地点</p>		<p>SS=11mg/lを超えた回数: st.15= 24計測中17回 (5.0mg/l～102mg/l) st.16= 24計測中24回 (12mg/l～44mg/l) st.17= 24計測中21回 (6.3mg/l～40mg/l) SS=50mg/lを超えた回数: st.15= 24計測中1回 st.16= 24計測中0回 st.17= 24計測中0回</p>		
<p>流入水路部調査地点(st.15、st.16、st.17)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p>		<p>st.15: 10/9(PM 下げ潮時) 51mg/lが最大値であった。調査中に4mm(15時～16時)の降雨があり、流入水路からの濁水流入を確認した。なお、他の地点(st.16,17)で濁りは確認されなかった。 st.16: 10/27(PM 上げ潮時) 33mg/lが最大値であった。調査時間は干満時の中間で、流速が速い時間帯であるため、干満により潮流で低質が巻上り、濁りが滞留したものと考えられる。 st.17: 10/22(PM 下げ潮時)、10/28(PM 上げ潮時)で31mg/l が最大値であった。調査時間は両日とも干満時の中間で、流速が速い時間帯であるため、干満による潮流で低質が巻上り、濁りが滞留したものと考えられる。</p>		
基準超過時の気象概況	<p>・10月15日は、水深が0.3mと浅く、波高は約0.2m、潮汐は大潮で干潮が12:19であった。気象は、前日14時に0.5mmの降雨を観測した。風速は、前日が8～12m/sで北東～北北東方向、当日は10～12m/s北北東方向であり、台風(21号)の接近に伴う、強風が卓越していた。 ・10月19日は、台風の接近に伴い前日とも平均風速が4～7m/sと強く、最多風向は、前日が北北西風、当日が北風であった。なお、降雨は前々日に87.5mm、前日0.5mm、及び当日は0.0mmであった。</p>			
基準超過時の工事状況	<p>海上工事は10/15はイ護岸築造工事にて汚濁防止膜撤去・構造物撤去が行われていた。 10/19は台風通過後の工事再開日であった。作業はイ護岸築造工事にて汚濁防止膜設置・基礎捨石投入・均し、仮航路浚渫工事で潜水探査、島の突堤整備工事では灯浮標取付が行われていた。 なお、いずれの工事でも工事区域からの濁りの発生は確認されなかった。</p>		<p>【調査位置図】</p>  <p>備考)st.8及びst.9は沖縄県により調査が実施されている。</p>	

